

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	成田市			代表者名	小泉 一成
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部行政管理課	連絡先電話番号	0476-20-1510
担当者役職	係長	担当者氏名	押尾 貴之	連絡先E-mail	
住所	286-8585 千葉県成田市花崎町760				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	DX・業務改革への意識改革、マインドシフト
概要	職員に対するDXの機運醸成及び業務改革に向けたマインドシフト研修		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	184	令和6年9月20日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年7月25日	講演(実地)	9時30分	16時30分	80
				活動時間（分）	340
2-2.	会場名	成田市文化芸術センター なごみの米屋スカイタウンホール	最寄駅	JR成田駅	
派遣場所	所在地	成田市花崎町836	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	研修の冒頭から長時間に渡って自己紹介を行い、自身の情報を受講者にしっかりと伝えた上で各論に入っていく手法は、他の研修とは一線を画すものであり、聞く人を惹きつける内容・話し方であった。研修は、自身の体験談を交えての説明が多く、とても分かりやすく興味を持てる内容であったほか、実際にゲームをすることによって、研修内容を深く理解することができた。また、今回は、係長級の職員を対象とした研修であったが、上司や部下への具体的な対応方法などを学ぶことができ、非常に有意義な研修になったと感じた。
アドバイザーへの要望事項	今年度は、若手職員及び係長級の職員を対象に実施したが、全庁的に行政改革を推進するためには、より多くの職員が受講することが望ましいと考えているため、次年度の開催も検討したい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	50人
	属性	自治体職員	住民
	人数	50	企業・団体

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	全庁的にDXの重要性は浸透しており、業務改革を行いたいと感じている職員も一定数いると思われるが、具体的な実施方法が分からない、または日々の業務に追われて新たな取り組みを進める余裕がないなどの理由により、積極的な取り組みが見られない状況である。こうした状況を打破するため、変化を嫌う傾向にある管理職とデジタル技術の活用には抵抗の少ない若手職員の間立つ係長級の職員がBPRの必要性を認識し、各部署において小さな成功事例を積み上げていくことで、全庁的な意識改革を図っていきたい。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	公務員という業務の性質上、新たな事業の検討や方向性などを決める際は、内部の職員だけで決定することが多く、民間企業の斬新な発想やスピード感などを取り入れる機会が少ない。こうしたことから、外部講師による説得力のある研修を通じて、職員一人ひとりの考え方に変化をもたらす、新たな事業を検討する職員、またその方向性を決定する職員が、常に業務改善の意識を持つようになることで、新たな取り組みを積極的に推進していける自治体を目指したい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	自分の想いや企画を実現するための手法について研修を行っていただき、具体的には、決裁権者や人ごとの期待値を理解すること、また方向性が違う決裁権者を引き込むためには、効果分析表による優先順位を決定することなど、斬新な考え方や具体的な手法を学ぶことができた。また、適宜ゲームを実施し、研修内容をより深く理解することができたほか、チームで目標を達成するための役割や達成感を体験することができた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	受講者にアンケート調査を実施したところ、多くの職員が最高評価である「とても満足」と回答した。意見の中には、「重点的にやらなければならない業務を認識することができた」、「聞き手の視点を考えた資料を作成したい」、「目標やビジョンを持つことの重要性を学んだ」など、業務に前向きな気持ちになれた職員が多くおり、意識改革に関して一定の効果が得られたと感じている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の研修を通じて、受講した職員の意識改革が図られたと感じているが、その想いをカタチにするためには、職員一人ひとりの意識や行動力も重要であるが、こうした職員の考え方を受け入れようとする側の組織風土や職員の意識が必要であると感じている。管理職、係長、若手職員においては、それぞれ業務における役割や責任が異なる中で、全職員が行政改革という同じ方向を見て進んでいくためには、定期的に外部講師による研修を行い、全庁的に取組みやすい組織風土や意識醸成を図っていく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 受講者アンケートでは、多くの職員が「とても分かりやすかった」、「研修で気付きや学びがあった」、「自身の仕事への考え方に変化があった」、「とても満足」と回答している。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
4-4. 事業の最終的な目指す姿	毎年度職員の異動があり、担当業務や置かれる立場も変わっていくことから、意識改革に関する研修は、継続的に実施していくことが効果的であると考えている。そのため、引き続き、本制度を活用しながら、職員の意識改革を図るとともに、フォローアップによる職員の更なる成長へ繋げたい。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

